科目名				学年
eコマースシステム論 : Electronic Commerce System				1K
教員名	松野成悟 : MATSUNO Seigo			
単位	授業時間	科目区分	授業形態	
2	100分×15回	選択	講義・後期	

授業概要	本授業では，インターネットを基盤とする今日的な情報革命とディジタル経済の展開をふまえ，情報システムが果たす社会的・企業経営的な役割について学習する。具体的には，情報システムの種類や特徴に関する基本的な認識を深めるとともに，企業間情報共有基盤としての電子データ交換（EDI）システムやeコマースの現状と動向などについて考察する。また，情報システム，経営組織，および経営戦略の三者間の適合関係についても検討していきたい。

到達目標	評価方法
(1)情報革命をふまえ，各種情報システムの種類や特徴が理解できる。 (2)EDIのしくみと企業間情報共有時の諸問題について考察できる。 (3)社会的・企業経営的な観点から，eコマースシステムが果たす役割や課題が説明できる。	評価方法および配分は，①定期試験（50%），②自学自習によるレポート（50%）とする。

学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1（1）	(d)-(4)

授業計画

回	項目	内容
第1	ガイダンス	本授業の概要を説明し，到達目標と評価方法を受講者に周知徹底する。
第2	経営組織と情報システム①	経営管理の機能と技術，情報システムとの関係などについて説明する。
第3	経営組織と情報システム②	情報戦略の策定と情報統括役員（CIO）の役割について説明する。
第4	情報システムの運用と管理①	各種情報システムの形態と特徴について，その発展過程も含めて説明する。
第5	情報システムの運用と管理②	情報システムの運営と管理について，アウトソーシングやクラウドを中心に説明する。
第6	情報システムの運用と管理③	情報システムの運営と管理について，情報化投資の評価を中心に説明する。
第7	情報システムの運用と管理④	情報技術を活用した抜本的なビジネスプロセスの改革（BPR）の事例について説明する。
第8	企業間電子商取引とEDI①	eコマースの現状と動向について，B2BおよびB2Cを中心に説明する。
第9	企業間電子商取引とEDI②	電子データ交換（EDI）のしくみと史的発展過程について説明する。
第10	企業間電子商取引とEDI③	EDIデータの二次利用と決済，ならびに電子商取引に関する法規について説明する。
第11	企業間電子商取引とEDI④	インターネット調達の現状と課題について，eマーケットプレイスも含めて説明する。
第12	オープンネットワークと企業間連携①	供給連鎖管理（SCM）の概要を説明し，具体的な事例を検討する。
第13	オープンネットワークと企業間連携②	製品アーキテクチャとモジュール化の概要について説明する。
第14	オープンネットワークと企業間連携③	企業間における情報共有のモデル化について，トレーサビリティシステムも含めて説明する。
第15	まとめ	本授業内容のまとめを行う。また，授業評価アンケートを実施し，理解度や目標到達度を確認する。

自学自習の内容	レポート課題を課す。
関連科目	
教科書	適宜プリントを配付する。
参考書	オープンネットワークと電子商取引（時永祥三ほか，白桃書房）
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備考	